

群馬工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	ディジタルシステム設計特論
科目基礎情報				
科目番号	4	科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	生産システム工学専攻	対象学年	専2	
開設期	前期	週時間数	2	
教科書/教材	自作資料を配布			
担当教員	大豆生田 利章			

到達目標

- ディペンダブルシステムに関する基礎的な質問に答えられる。
 - 簡単なシステムの信頼性解析ができる。
 - 論理回路のテストに関する基礎的な質問に答えられる。
 - 簡単な論理回路のテストパターンを生成できる。
 - システムの信頼性の重要性を理解できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	デイペンダブルシステムに関する基礎的な質問に答えられる。	デイペンダブルシステムに関する基礎的な質問におおむね答えられる。	デイペンダブルシステムに関する基礎的な質問に答えられない。
評価項目2	簡単なシステムの信頼性解析ができる。	簡単なシステムの信頼性解析がおおむねできる。	簡単なシステムの信頼性解析ができるない。
評価項目3	論理回路のテストに関する基礎的な質問に答えられる。	論理回路のテストに関する基礎的な質問におおむね答えられる。	論理回路のテストに関する基礎的な質問に答えられない。
評価項目4	簡単な論理回路のテストパターンを生成できる。	簡単な論理回路のテストパターンを生成がおおむねできる。	簡単な論理回路のテストパターンを生成できない。
評価項目5	システムの信頼性の重要性を理解できる。	システムの信頼性の重要性をおおむね理解できる。	システムの信頼性の重要性を理解できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	高度情報化社会において、故障の発生が障害に直結しないシステム（フォールトトレラントシステム、ディペンダブルシステム）の構築が重要になっている。そこで、本講義では、まずディペンダブルシステムに関する概念と評価尺度に関して開設する。その後、論理回路のテスト技術について解説する。
授業の進め方・方法	座学
注意点	論理回路、確率、微分方程式およびラプラス変換に関する基礎知識が必要。本科目は隔年開講科目である。令和2年度は開講しない。

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	システムの信頼性(1)
		2週	システムの信頼性(2)
		3週	システムの信頼性(3)
		4週	システムの信頼性(4)
		5週	システムの信頼性(5)
		6週	システムの信頼性(6)
		7週	システムの信頼性(7)
		8週	論理回路のテスト(1)
	2ndQ	9週	論理回路のテスト(2)
		10週	論理回路のテスト(3)
		11週	論理回路のテスト(4)
		12週	論理回路のテスト(5)
		13週	論理回路のテスト(6)
		14週	論理回路のテスト(7)
		15週	論理回路のテスト(8)
		16週	期末試験

評価割合